

走行チェックシート

日付	2014年9月28日 (日)		時間	15:10 ~		イベント	2014MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦		
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L4		ライダー	今野由寛 Yoshihiro Konno		
コース	名称	岡山国際サーキット				気温	26 °C		
	コンディション	ドライ				気圧	984 hpa		
	路面温度	36 °C	(計測時間 15:00)		湿度	36 %			
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10				エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40		
	ファイナルレシオ	15 × 43 (2.866)				チェーンリンク数	RK GP520UWR	118 リンク	
トランスミッション	1st	A (36/17)	2.11		4th	A (30/21)	1.43		
	2nd	A (37/20)	1.85		5th	B (28/21)	1.33		
	3rd	A (32/20)	1.60		6th	B (26/21)	1.24		
フロント	パーツ名	OHLINS FGR200(750mm)				TEN	-12 段		
	スプリング	9.75 N/m				OIL	—		
	トップアウトスプリング	1	N/mm	135	mm	油面	220 mm		
	イニシャル	11 mm				残ストローク	— mm		
	COMP	-15 段				突き出し	— mm		
リア	パーツ名	OHLINS TTX(370mm)				リンク	SPL		
	スプリング	95.0 N/m				リンクロッド	— mm		
	トップアウトスプリング	50	N/mm	12	mm	車高	STD+ 13.5 mm		
	イニシャル	10 mm				ピボット位置	-2 mm		
	COMP	-12 段				スイング長	615 mm		
	TEN	-12 段				残ストローク	— mm		
タイヤ	フロント				リア				
	銘柄	ダンロップ KR106				銘柄	ダンロップ KR108		
	サイズ	125/80/R420				サイズ	210/60R420		
	エア圧	2.1				エア圧	1.5		
チェック	順位	10		位	ベストラップ	1' 30.853(予選)			
	水温	°C				油温	°C		
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km			
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ			

<コメント>

皆様こんにちは！
 今年も残すところあと2戦になりました。残りも全力を出し切ります！
 今回レースが行われるサーキットを今野選手が走行するのは約二年ぶりです。
 バシッとタイムを出して進化しているところを見せつけたいと思います。
 しかし事前テストからあまりいいタイムが出ませんでした。というのも年々路面のグリップが悪くなってきているようで通常のサーキットよりも低いバネレートになっていきました。
 一番レートが低くてフロントが9.0N/mm、リヤが80N/mmまでいきました。路面のμが低い場合バネレートが高いとタイヤを押しすぎてしまいグリップが出る前にスライドしてしまいます。そういった場合はバネレートを落とす必要が出てきます。
 今回はさらにリンクも変化率の少ないタイプに変更しました。変化率が多いとリヤのストロークが増えるにつれてタイヤにかかる荷重の変化する量も増えます。逆に変化率を少なくするとストロークしていても荷重が変化する量を少なくすることができます。車体姿勢もバネレートにあわせて結構低めになりました。特にリヤが。APと比較すると約10mm低くしました。
 レースウィークに入り新品タイヤにあわせて車体のアジャストを行いました。
 2コーナーでのチャタも激しくてタイムを詰める上では解決したいところではありましたが、車体セットを大きく振りましたが変化せず、結局フロントフォークの減衰仕様の変更で解決できました。
 そして予選Q1で自己ベスト付近の1' 30.853で11位グリッドを獲得。残念ながらQ2に進出できませんでした。
 朝フリーは少しセットを変えて走行。ブレーキングでのグリップを出すためにチェーンを1コマ詰めてスイング長を短くしました。実際そこでのグリップや立ち上がりでのトラクションはかかるようになりましたが、スライドコントロールがしにくかったり、フロントを押し荷重が少なくなってしまう、長い決勝周回数を考えてコントロールのしやすいスイング長の長い仕様でレースへ。スタートも決まり、一周目は8番手で通過。序盤をペースを上げるもライバルチームの方が少し上回り徐々に差が開きます。何とか頑張りましたが10位でゴール！久しぶりのチェッカーフラッグを受けることができました。
 次回はいよいよ最終戦です。
 皆様の協力のおかげでここまで来ることが出来ました。たくさんの応援ありがとうございました。
 成績という形でしかお返しできませんが力いっぱいがんばります。
 最終戦はレベルの高い戦いをしたいと思います。
 ありがとうございました。

(株)Sサプライ
 畑中 健太郎